

仕合わせの和

第189号

H. 29. 12. 1

(毎月1日発行)

開創五百年祭を終えて

述べ4日間に亘る『真成寺開創五百年記念祭』は、皆様のご協力のお陰をもちまして無事成功裏に終了できましたことに厚くお礼を申し上げます。殊に今年1月より毎晩遅くまで色んな企画を考え、出演者との打ち合わせ等々諸準備に苦勞に苦勞を重ねて頑張ってくれた副住職をはじめ、寺族の皆に心から御礼と感謝を捧げたいと思います。本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございます。

また、4日間に亘り、色々な部署でお手伝い賜り、陰の力で支えて頂いた善男善女の皆様方にも心から御礼申し上げます。

事前祭・前夜祭・記念本祭と、その道でご活躍なさっていらっしやる芸人・ミュージシャン・舞踏家・書家等々ご多忙中、真成寺五百年祭に関わって頂いた方々は、まさに選ばれた人達であったと拝察しています。また、ご遠路身延山よりバス一台で駆け付けて頂いた万灯講の皆様方

にも、勇壮な纏(まとい)で華を添えて下さり、厚く御礼申し上げます。

4日の本祭及び、記念大法要の日は、朝からの雨模様で九十六名のお稚児さん達には、大変かわいそうな思いをさせましたが、それでも雨が降ったお陰で、本堂内での「せり込み蝶六保存会」の先生方の音頭に合わせ、お餅つきを体験できたりと、これも龍神様の思し召しだったのでないかと拝察いたし、それも大変良かったのではないかと受け止めております。お稚児さんにご参加頂いた親御さん方からは「お餅つきという貴重な体験をさせていたただけて大変良かったです」と、感謝の意を表されておられました。

ところで、記念本祭の前夜(3日)、不思議な光景を目にしました。夜十一時過ぎだったと思いますが、明日の天候が気になり、夜空を見上げると、何とも言えない満月に満天の星空。その中に一筋の分厚い雲が、本堂屋根の方から山の方角に向かって物凄い勢いで流れていたのです。驚きました。

祝 開創500年

「仕合わせの和」

と打ち込んで頂ければ、ホームページにつながります。

編集・発行

玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でもお寺につながります。

まさに龍の姿をした雲をハッキリと肉眼で確認させていただけたのです。古来「龍神」は、ご守護人として尊ばれてきました。渇水の時には龍神様に祈り、田畑に水を呼び起こしていただくよう、生活には欠かせない大切な儀式として祈りを捧げてこられました。龍神様は私達と切っても切れない縁起の良いご守護神様なのです。したがって最終日の本祭当日は、雨が降って当然だったのかもしれませんが、そのお陰で全ての行事は参詣者の皆様方がお参りされている本堂内で行われたという事は、結果的にはとても良かったのでした。龍神様がお喜びになられた歓喜の雨だったと言えるのかもしれない。『過・現・未』という過去・現在・未来の三世に生かされる私達。真成寺は今までの五〇〇年を受け、そしてこれからの五〇〇年に向けて新た

に歩み始めました。どうぞ今後とも皆様に期待されるお寺としての役割を果たせませうとお誓い申し上げます、御礼のご挨拶と致します。

九拝

